



桂坂自治連合会会長
菊池 潤治

10周年記念事業からあつという間に20周年を迎えました。

その間、桂坂の皆様のご支援、ご協力のお蔭で、安心・安全のまちづくりが進み、この度20周年の記念事業もすべて終えることができました。主催者として深く感謝申し上げます。

桂坂の人口も毎年少しずつ増えて、本年5月現在、11,687名、3,736世帯となり、西京区内では檜原、松尾学区に次ぐ3番目のまちとなりました。自治会も昨年春に「もくれん自治会」が誕生し、桂坂自治連合会は15自治会の連合体となり、各自治会、各種団体の皆様のご協力を得て運営しております。

要因は様々ですが、市内で自治会離れが進む中、当学区では92%の方に会員としてまちづくりにご協力いただいております。

桂坂自治連合会の掲げる「基本理念」は、次の3点です。

- I. 自由な雰囲気か漂うまち・桂坂
- II. 便利で住みよいまち・桂坂
- III. 安全、安心のまち・桂坂

緑の空間、澄んだ空気、それに歩道・緑道が整備されているなど環境保全の行き届く桂坂では、個々の家庭を尊重し、何事においても強制的なことは控えなければなりませんし、また、古くから居住している方々と新たに入居された方々との融和にも配慮しなければなりません。

「便利で住みよい」という点では、カナート・イズミヤは、誘致・開店に至るまでに8年の年月を要しましたが、桂坂の皆様の求めに応じた営業を心がけ、また、この店開きによって街路に人の流れも生まれて今やすっかり桂坂の「核」的存在となっております。交通アクセスの面では、市バス、京阪京都交通バス、ヤサカバスが阪急桂、洛西口駅、JR桂川駅に向かうバスを運行し、生活も随分便利になりました。ただ、地下鉄の桂坂乗り入れの件につきましては、京都市の財政上から不可能のようです。しかし、平成11年に提出



した請願書が市会で採決されたこともあり、京大、日
文研、市立芸大の存在する、この西京区の発展のため
にも今後とも粘り強く、諦めずに進めていくべき問題
だと思っています。

「安全、安心のまちづくり」では、この20年間、凶
悪な犯罪の発生はほとんどなく大きな災害に見舞われ
ることもありませんでした。これは防犯、防災意識の
高い皆様の平素からのご努力あってのことと考えてお
ります。加えて毎年実施される自主防災会、各自主防
災部の訓練、消防分団の日頃の予防・警戒活動なども
学区内の安心・安全に大きく寄与していることと思
います。子どもさんの安全につきましては、常に学校の
先生方、PTAや、少年補導委員会、山の手倶楽部、
地域女性会など学区内の各種団体の連携を深めていく
必要があります。

未来の夢ある桂坂を構築するためには、教育、福祉、
環境、景観問題などしっかり足元を見据えて、一歩一
歩前進していかねばなりません。

情報化時代といわれていますが、自治連合会の広報
『桂坂』は今や至れり尽くせりの大きな存在です。情
報を住民の皆さんに提供する、これが自治活動の基本
であると思っています。緊急・災害時には特に、迅速
かつ確かな情報が欠かせません。広報紙、回覧板など
情報活動の重要性を認識しつつ、安心・安全なまちづ
くりを進めていきたいと思えます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。



祝 辞



京都市長
門川 大作

人々の楽しげな話し声、子どもたちの歓声、その子どもたちを見守るやさしいまなざし、人と人が集うところにあふれる笑顔、そして地域の温もり。

まちができるというのは、ただ家が建ち並び、道路ができることではなく、人々のふれあい、笑顔、温もりがその土地に宿り、育まれていくことなんですね。桂坂学区の輝かしい創立20周年に際して、改めて深く実感しています。

菊池潤治自治連合会会長をはじめ地域の皆様が、この桂坂学区ならではの絆と温もりを、大切に育んでこられた20年の尊い歩みに、心から敬意を表します。

「かつらの並木、鳥のうた、夢はふくらむ」、「みどりの風を糧として、かよう心」。桂坂小学校の校歌の1番・2番の一節です。貴学区の皆様は、そんな桂坂の美しい自然の繊細さ、奥深さを、心に映しながら暮らしておられるのでしょう。だからこそ桂坂学区では、人と人のこまやかな心の交流が生まれ、地域の絆が深いのだと思います。

また、桂坂小学校校歌の3番には、「この理想、世界を翔けよう桂坂」とあります。地域の皆様が高い理想を掲げ、自治の気風に満ちた安心安全な暮らしを実現されている桂坂学区。そして教育の志と福祉の心が息づき、世界有数の知が集積する貴学区は、“京都の桂坂学区”であると同時に、まさに“日本の、更には世界の桂坂学区”であります。

私は、「子どもに笑顔、若者に夢、お年寄りに安心と生きがい」を第一に、市民の皆様と共に汗する「共汗」と、行政の縦割りを排した政策の「融合」により、京都の未来のまちづくりに、全力で取り組んでおります。桂坂学区の皆様！引き続き夢や誇り、行動を共有しつつ、京都のまちづくりの力強いけん引役として、お力添えいただきますようお願い申し上げます。

結びに、桂坂学区が更に50年、100年とますます御発展されますこと、並びに学区民の皆様のお健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。



祝 辞

桂坂学区の皆様、創立 20 周年という記念すべき、輝かしい節目を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

また、日頃から西京区政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

西山連峰に囲まれ、自然環境に恵まれた桂坂学区は、京都大学桂キャンパス、国際日本文化研究センター、桂坂野鳥遊園等の学術・文化施設、洛西ふれあいの里等の福祉施設が充実するとともに、今も人口が増加しており、若年層の割合が高く、若いエネルギーに満ち溢れている学区であります。

更に、自治会加入率が非常に高く、卓越した「地域力」「人間力」により、自治連合会や各種団体が積極的かつ多彩な活動を展開しておられます。

桂坂学区の 20 年間の歴史は、地域に根ざし、自然と調和した理想の「まちづくり」を確立されたものであり、まさに本市が目指すべき地域コミュニティ活性化のモデルと言うべきものであります。

これもひとえに、菊池潤治自治連合会長をはじめ、歴代役員の方々や学区民の皆様方の御熱意とたゆまぬ御努力の賜であり、深甚なる敬意を表する次第であります。

西京区役所におきましては、豊かな自然と悠久の歴史に彩られた個性と魅力を生かした「未来に羽ばたくまちづくり」を推進するため、今後とも、地域活動を積極的に支援し、地域の更なる活性化を図って参りたいと考えておりますので、皆様方のより一層の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、栄えある 20 周年を契機として、桂坂学区が未来に向けて更に飛躍されますことを御期待申し上げますとともに、学区民の皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、私のお祝いの言葉とさせていただきます。



西京区長
古川 幸隆



祝 辞



洛西担当区長
水口 重忠

桂坂学区の皆様、学区創立20周年、誠にありがとうございます。この記念すべき節目の年を、皆様と共に迎えられましたことを心から嬉しく思っております。

西京区内で最も新しい学区であります桂坂学区が、20年の年輪を刻まれる中で、4,000人もの方々が参加される「ふれあい統一クリーンデー」の清掃活動や、自治会ごとに知恵と力を寄せ合い繰り広げられる「統一夏祭り」をはじめとする、住民の親睦と交流を根幹においたまちづくり活動をしっかりと根付かせて来られました。

「合同作品展」などの多彩な文化創作活動や大いに盛り上がる「学区民体育祭」などは、今もお発展を続けるまちの活力を示すものであり、また、「洛西ふれあいの里」、「西総合支援学校」、「国際日本文化研究センター」、「京都大学桂キャンパス」など、桂坂の有する施設との交流により、人にやさしい共生のまち、文化学術に親しむまちとして、住民の皆様の活動がさらに幅広く奥深さを増していると感じます。

加えて、防犯・防災、環境など、安心・安全を守る活動においても、創意工夫を持って地域ぐるみで積極的に取り組まれています。

このように多様な地域活動が活発に展開されていることは、人と人との絆を大切にしながら、「自分たちのまちは自分たちで住みよく築いていこう」という、創立以来の自主自立の熱い思いが、今日に至るまで引き継がれている証であります。常に先頭に立ってまちづくりを推進されている菊池潤治自治連合会長をはじめ地域の皆様方に、心からの感謝と深い敬意を表する次第であります。

さて、西京区では、区民の皆様とともに、「心豊かで安心安全に暮らせる西京区」を目指し、新たな区基本計画の策定に向けて取組を開始いたしました。計画の策定はもとより、実行にあたりましては、皆様の「地域力」を一層高めて発揮していただくとともに、洛西支所職員一同、皆様と共に汗して全力で取り組んでまいりますので、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、桂坂学区が、30年、50年と時を重ね、いつまでも「住んでよかった」と言えるまちであり続けますよう、また、住民の皆様方の御健勝と御多幸を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

